

平成29年度 県立川崎図書館の活動評価

神奈川県立川崎図書館は、図書館活動について計画→実施→評価→見直しのサイクルを実現し、運営の持続的な改善を図ることを目的として活動評価を行っております。

平成29年度は、前年度に引き続き、図書館サービスの質的向上を図るため、活動の目標として、それぞれ達成すべき数値目標を設定し、全館をあげて目標達成に向けて事業展開に取り組んでまいりました。

このたび、平成29年度の活動実績を踏まえて、活動評価をまとめましたので、公表いたします。

活動評価の概要

平成29年度の活動評価としては、6つの基本指標のうち、「新規寄贈資料数」、「利用者向けイベント等の参加者数」、「ホームページコンテンツの新規作成件数」と「メディア掲載件数」の4項目は「評価A」、「データベース利用者数」は「評価B」、「テーマによる資料展示回数」は「評価C」となりました。

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
① 新規寄贈資料数	450点	505点	112.2%	A
② データベース利用者数	300人	273人	91.0%	B
③ テーマによる資料展示回数	60回	39回	65.0%	C
④ 利用者向けイベント等の参加者数	650人	658人	101.2%	A
⑤ ホームページコンテンツの新規作成件数	30件	34件	113.3%	A
⑥ メディア掲載件数	40件	41件	102.5%	A

※評価は、概括的にA、B、C、Dの4段階評価とし、各レベルを下記のとおりとしました。原則として、数値目標との比較で判断しましたが、各目標の達成に向けた取組内容や標準的な活動レベルとの比較を加味しました。

評価A：数値目標を達成し、高いレベルで活動が展開されている

評価B：数値目標をほぼ達成し、やや高いレベルでの活動が展開されている

評価C：数値目標を達成していないが、標準的なレベルでの活動は展開されている

評価D：数値目標を達成できず、標準的なレベルにも達していない

基本指標① 新規寄贈資料数

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
① 新規寄贈資料数	450点	505点	112.2%	A

[定義]

新規資料寄贈数とは、新たに企業等から寄贈を受けた「社史」および「技術報告書」等雑誌の点数。

[評価の内容]

●目標達成率 112.2%

- ・ 新規資料として、社史500点、逐次刊行物5タイトル、合計505点を受け入れることができました。目標数値を超えて、目標達成率112.2%となりましたので「評価A」としました。
- ・ 社史は近年に刊行したものだけでなく、刊行年度の古いものも積極的に寄贈を依頼し、ご寄贈いただくことができました。

[今後の改善点]

- ・ 多くが非売品で入手の難しい社史については、相手方に当館の特色を理解していただいた上で、ご寄贈につながるように努め、社史コレクションをさらに充実させていきます。

基本指標② データベース利用者数

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
② データベース利用者数	300人	273人	91.0%	B

[定義]

データベース利用者数とは、科学技術文献検索のための「JDreamⅢ」、新聞記事検索のための「日経テレコン21」、特許検索のための「JP-NET」等、当館の契約しているデータベースを利用した利用者人数の総数。

[評価の内容]

●目標達成率 91.0%にとどまる

- ・ データベース利用人数は、提供しているデータベースの一部を半年契約としたため、数値目標の目標達成率91.0%と目標を達成できませんでしたので「評価B」としました。
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスに関しては、4月から11月までの提供にもかかわらず、前年度比105%程度の増加となりました。

[今後の改善点]

- ・ 新たに導入する電子ジャーナルや外部データベースを積極的に PR し、利用者の拡大に努めます。
- ・ 利用者対象に「資料の調べ方講座」を開催するなど、電子ジャーナルや文献検索データベースの利活用と普及に努めます。
- ・ 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の広報に努め、さらなる活用と普及に努めます。

基本指標③ テーマによる資料展示回数

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
③ テーマによる資料展示回数	60回	39回	65.0%	C

[定義]

2階ミニ展示をはじめ、1階ビジネス支援室や3階科学技術室で、利用につなげる目的でテーマによる展示を行った回数。

[評価の内容]

●目標達成率 65.0%

- ・ テーマによる資料展示回数は、目標数値の目標達成率65.0%となり数値目標を達成できませんでしたので、「評価C」としました。
- ・ 平成29年度は、移転作業に注力したため、予定した展示の企画・実施ができませんでした。

[今後の改善点]

- ・ これからもテーマに基づいて図書館が主体的に編集・加工した「コレクション構築展示」として、利用者の価値創造に役立つ「知の編集」を行い、発信していきます。
- ・ 科学と産業技術分野に関する社会的動向に注目し、さらに魅力的な展示を企画・実行していきます。

基本指標④ 利用者向けイベント等の参加者数

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
④ 利用者向けイベント等の参加者数	650人	658人	101.2%	A

[定義]

講座・講演会やサイエンスカフェ、ビジネス相談等の参加者の人数。

[評価の内容]

●目標達成率 101.2%

- ・ 利用者向けイベント等の参加者数は、数値目標の目標達成率101.2%となりましたので「評価A」としました。
- ・ 「社史フェア」や「社史ができるまで」講演会への参加者を多数得ることができました。特に、「社史ができるまで」講演会は毎回定員をはるかに超える応募者が集まる人気イベントになりました。

[今後の改善点]

- ・ 利用者のニーズを先取りしたタイムリーで魅力のある講演会などを開催するとともに、開催にあたっては、より多くの方に参加いただけるよう、様々な広報媒体を活用して積極的な情報発信に努めます。
- ・ 「子ども科学実験室」における「蔵前理科教室 ふしぎ不思議（くらりか）」、「発明相談」における「神奈川県発明協会」、「創業・経営相談」における「けいしん神奈川」等、長年協力を得ている関係団体と連携していくほか、さらに、「日本弁理士会関東支部神奈川委員会」と連携した「知的財産相談」や「NPO ブルーアース」と連携した「大人の科学教室」を新たに開催するなど、多彩な講習会や相談を行っていきます。

基本指標⑤ ホームページコンテンツの新規作成件数

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
⑤ ホームページコンテンツの新規作成件数	30 件	34 件	113.3%	A

[定義]

ブログ風記事「司書の出番」等、ホームページコンテンツの新規作成件数。

[評価の内容]

●目標達成率 113.3%

- ・ ホームページコンテンツの新規作成件数は、数値目標の目標達成率 113.3%となりましたので「評価A」としました。
- ・ 国立国会図書館レファレンス協同データベースへの当館のレファレンス事例の提供を前年度並みに行いました。

[今後の改善点]

- ・ 効果的な広報媒体としてだけでなく、図書館ホームページを最大限に活用し、当館の所蔵資料の活用に関与するコンテンツの充実に努めます。

基本指標⑥ メディア掲載件数

基本指標	数値目標	活動実績	目標達成率	評価
⑥ メディア掲載件数	40 件	41 件	102.5%	A

[定義]

当館の活動・取組みが、新聞・雑誌・放送・ウェブサイト等の外部メディアに掲載された件数。

[評価の内容]

●目標達成率 102.5%

- ・ メディア掲載件数は 41 件と、数値目標を超える各種メディアに取り上げていただくことができました。数値目標の目標達成率 102.5%と目標を達成しましたので「評価A」としました。
- ・ 社史関連の事業が、新聞等のメディアにとりあげられました。

[今後の改善点]

- ・ 魅力的なイベントを企画し、その情報を積極的に提供していきます。
- ・ 当館の認知度を高めることを常に意識して、積極的な情報発信を心がけていきます。